



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
コード番号 2370 URL https://www.medinet-inc.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久布白 兼直
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 落合 雅三 TEL 03-6631-1201
定時株主総会開催予定日 2024年12月18日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年12月18日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期の業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	768	16.2	△1,384	—	△1,261	—	△1,276	—
2023年9月期	661	4.4	△1,425	—	△1,419	—	△1,437	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△5.04	—	△25.0	△22.3	△180.2
2023年9月期	△6.65	—	△27.3	△24.2	△215.5

（参考）持分法投資損益 2024年9月期 ー百万円 2023年9月期 ー百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	5,700	5,190	91.1	19.62
2023年9月期	5,634	5,043	89.2	21.64

（参考）自己資本 2024年9月期 5,190百万円 2023年9月期 5,023百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△1,271	65	1,460	4,651
2023年9月期	△1,263	3	1,157	4,396

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930	21.0	△1,491	—	△1,485	—	△1,489	—	△5.63

※当社は第2四半期累計期間の業績予想を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	264,515,306株	2023年9月期	232,160,757株
② 期末自己株式数	2024年9月期	64株	2023年9月期	64株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	253,282,224株	2023年9月期	216,084,438株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、2024年11月28日（木）に機関投資家及び証券アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明資料については、東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2023年10月1日から2024年9月30日まで）においては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかな回復基調となりましたが、一方では不安定な国際情勢や円安の進行に伴う物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社は引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による法的枠組みの下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めるとともに収益構造の改善に注力しております。当社を取り巻く事業環境は依然として厳しさが続いておりますが、特定細胞加工物の受託拡大やCDMO事業の基盤強化に注力しております。

当事業年度においては、前事業年度と比べ特定細胞加工物製造業やCDMO事業の売上が増加したことにより、売上高は768百万円（前期比16.2%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加等により、売上総利益は112百万円（前期比14.7%増）、研究開発費の減少により販売費及び一般管理費は1,497百万円（前期比1.8%減）となり、営業損失は1,384百万円（前期は営業損失1,425百万円）となりました。また、加工中断収入10百万円（前期比13.1%減）、投資事業組合運用益73百万円（前期は投資事業組合運用損10百万円）、貸倒引当金戻入額37百万円（前期比500.0%増）等の営業外損益により、経常損失は1,261百万円（前期は経常損失1,419百万円）となり、投資有価証券評価損10百万円を特別損失に計上したこと等により、当期純損失は1,276百万円（前期は当期純損失1,437百万円）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①細胞加工業

細胞加工業については、細胞加工業の3つのビジネス領域（「特定細胞加工物製造業」・「CDMO事業」・「バリューチェーン事業」）の拡大に向けて積極的な活動を展開しております。当事業年度においては、「特定細胞加工物製造業」では、一部取引先との価格改定、製造受託に向けた技術移転による一時金等により、「CDMO事業」では製造受託料の価格改定を伴う安定受注等により、売上高が増加しております。その結果、売上高は768百万円（前期比16.2%増）となりましたが、細胞加工受託の拡大に向けた体制整備に係る先行投資や販売費等が増加したことにより、セグメント損失は373百万円（前期はセグメント損失346百万円）となりました。

②再生医療等製品事業

再生医療等製品事業については、再生医療等製品の早期の収益化を目指すとともに、国内外で行われている再生医療等製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得、拡充を視野に入れた活動を行っております。当事業年度においては、売上高は0百万円（前期比47.5%減）、研究開発費の減少等によりセグメント損失は434百万円（前期はセグメント損失496百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて65百万円増加し、5,700百万円となりました。流動資産は5,013百万円と前事業年度末に比べ244百万円増加しており、主な要因は現金及び預金の増加254百万円、売掛金の増加10百万円によるものです。固定資産は686百万円と前事業年度末に比べ178百万円減少しており、主な要因は、投資有価証券の減少110百万円、建物（純額）の減少64百万円によるものです。

(負債)

当事業年度末の負債は、前事業年度末に比べて80百万円減少し、509百万円となりました。流動負債は268百万円で前事業年度末に比べて77百万円減少しており、主な要因は、契約負債の減少57百万円によるものです。固定負債は240百万円と前事業年度末に比べて3百万円減少しており、主な要因は、株式報酬引当金の増加24百万円、繰延税金負債の減少28百万円によるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べて146百万円増加し、5,190百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使等による資本金749百万円及び資本剰余金749百万円の増加、並びに当期純損失計上に伴う利益剰余金1,276百万円の減少、その他有価証券評価差額金54百万円の減少、新株予約権20百万円の減少等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の89.2%から91.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ254百万円増加し、当事業年度末には4,651百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は1,271百万円（前期は1,263百万円の使用）となりました。

主な増加は、減価償却費114百万円であり、主な減少は、税引前当期純損失1,273百万円、投資事業組合運用益73百万円、貸倒引当金の減少額40百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって獲得した資金は65百万円（前期は3百万円の獲得）となりました。

主な収入は、投資事業組合からの分配金による収入77百万円、長期貸付金の回収による収入36百万円、主な支出は、有形固定資産の取得による支出53百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって獲得した資金は1,460百万円（前期は1,157百万円の獲得）となりました。

収入は、株式の発行による収入1,462百万円、支出は、リース債務の返済による支出1百万円です。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	第25期 2020年9月期	第26期 2021年9月期	第27期 2022年9月期	第28期 2023年9月期	第29期 2024年9月期
自己資本比率 (%)	90.7	90.8	90.7	89.2	91.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	272.7	232.7	341.4	206.0	213.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経営環境は、緩やかな回復が続くと期待されておりますが、不安定な国際情勢や円安の進行に伴う物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続くものと想定されます。

このような状況の中、当社は、細胞加工業において、営業活動の強化等による新規契約医療機関の獲得により、がん免疫細胞治療に係る製造数の一層の拡大を図ることに加え、当事業年度から提供を開始した新しい細胞種（S-DSC®：資生堂からの技術提供）の受託拡大、また、脂肪由来間葉系幹細胞の早期加工受託開始に向けた体制整備及び顧客開拓を進め、再生・細胞医療に取り組む製薬企業、大学、医療機関、研究機関等から特定細胞加工物の製造を受託するなどの「特定細胞加工物製造業」の更なる売上の拡大による収益改善を見込んでおります。また、取引先のニーズに対応し再生医療等製品等の開発・製造を受託する「CDMO事業」においては、新規案件獲得に向け、製造体制及び営業体制の強化を図ることに加え、当事業年度にAGC株式会社と締結しました戦略的パートナーシップ契約に基づく協業を推進してまいります。これらの取り組みにより、売上高は前期比21.0%増の930百万円を見込んでおります。

一方、費用面については、脂肪由来間葉系幹細胞の凍結品への変更に係る開発費や大学、医療機関、研究機関との共同研究費、再生医療等製品事業の早期の収益化に向けた開発パイプラインの拡充や開発体制の強化を図るための研究開発費の拡充に加え、細胞加工業の新規案件の受託に向けた体制強化の費用が増加する見込みです。

これらの状況を踏まえ、2025年9月期通期の業績は、売上高930百万円（前期比21.0%増）、営業損失1,491百万円

(前期は営業損失1,384百万円)、経常損失1,485百万円(前期は経常損失1,261百万円)、当期純損失は1,489百万円(前期は当期純損失1,276百万円)となる見通しです。

今後のセグメント別の見通しを表すと以下のとおりです。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	個別予想額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	930	—	930	—	930
外部顧客への売上高	930	—	930	—	930
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	930	—	930	—	930
セグメント損失(△)	△439	△473	△912	△579	△1,491

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△579百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、個別業績予想の営業損失と調整を行っております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、がん免疫療法市場の環境変化に伴う細胞加工業の売上急減後、回復が十分でないことに加え、再生医療等製品事業分野における自社製品の開発進捗に伴う支出が累増しているため、継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に疑義を生じさせるリスクが存在しております。

しかしながら、当社は、2018年4月に開始した事業構造改革を着実に実行し、細胞加工業セグメントにおいては、細胞加工施設の統廃合等を通じて製造体制の適正化を図り、同セグメントのセグメント利益の早期黒字回復を目指しております。また、再生医療等製品事業セグメントにおいては、早期の製造販売承認の取得に向けて有望でかつ可能性の高いシーズを優先して開発を進めるとともに、再生医療等製品の開発費等については資金状況を勘案の上、機動的に資金調達を実施してまいります。現状では、構造改革の着実な実行を通じた資金の確保、さらに2019年6月の第14回及び第15回、2020年7月の第16回、2020年9月の第17回、2021年9月の第18回並びに2023年3月の第19回新株予約権の発行による再生医療等製品開発費の資金調達等により、安定的なキャッシュポジションを維持しており、当面の資金繰りに懸念はないものと判断しております。これらに加えて、当社における当事業年度末の資金残高の状況を総合的に検討した結果、事業活動の継続性に疑念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、当社は、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しておりますが、国際会計基準の適用時期は未定であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,396,333	4,651,181
売掛金	217,624	227,801
仕掛品	33,741	18,684
原材料及び貯蔵品	33,740	31,473
前渡金	901	4,360
前払費用	39,101	48,977
その他	48,214	30,597
貸倒引当金	△828	—
流動資産合計	4,768,828	5,013,076
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	404,826	340,610
工具、器具及び備品（純額）	32,911	55,511
リース資産（純額）	7,288	5,079
建設仮勘定	33,376	21,482
有形固定資産合計	478,402	422,683
無形固定資産		
特許権	17,291	14,791
ソフトウェア	36,060	45,661
ソフトウェア仮勘定	59,896	40,308
無形固定資産合計	113,248	100,761
投資その他の資産		
投資有価証券	211,666	101,522
長期貸付金	531,250	495,250
破産更生債権等	28,605	24,478
差入保証金	61,999	61,987
貸倒引当金	△559,855	△519,728
投資その他の資産合計	273,666	163,509
固定資産合計	865,316	686,955
資産合計	5,634,145	5,700,031

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,217	57,502
リース債務	1,526	781
未払金	137,264	97,284
未払費用	8,928	9,882
未払法人税等	18,323	28,654
契約負債	57,227	—
預り金	6,626	7,212
賞与引当金	61,723	67,604
流動負債合計	346,838	268,922
固定負債		
リース債務	781	—
繰延税金負債	65,225	36,319
資産除去債務	158,146	160,157
株式報酬引当金	19,133	43,865
その他	78	—
固定負債合計	243,365	240,342
負債合計	590,203	509,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,736,788	6,486,162
資本剰余金		
資本準備金	577,808	1,327,182
資本剰余金合計	577,808	1,327,182
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,437,950	△2,714,945
利益剰余金合計	△1,437,950	△2,714,945
自己株式	△4	△4
株主資本合計	4,876,641	5,098,395
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147,029	92,370
評価・換算差額等合計	147,029	92,370
新株予約権	20,270	—
純資産合計	5,043,941	5,190,766
負債純資産合計	5,634,145	5,700,031

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	661,543	768,501
売上原価	563,291	655,808
売上総利益	98,252	112,692
販売費及び一般管理費	1,524,204	1,497,483
営業損失(△)	△1,425,952	△1,384,790
営業外収益		
受取利息	6,883	7,026
為替差益	335	—
投資事業組合運用益	—	73,196
貸倒引当金戻入額	6,200	37,200
加工中断収入	11,557	10,042
その他	1,449	2,995
営業外収益合計	26,425	130,460
営業外費用		
支払利息	57	27
株式交付費	3,895	7,114
社債発行費等	5,696	—
為替差損	—	111
投資事業組合運用損	10,006	—
営業外費用合計	19,655	7,253
経常損失(△)	△1,419,182	△1,261,583
特別利益		
投資有価証券売却益	6,448	—
特別利益合計	6,448	—
特別損失		
固定資産除却損	4,829	—
投資有価証券売却損	—	1,107
投資有価証券評価損	—	10,489
保険解約損	16,229	—
特別損失合計	21,058	11,597
税引前当期純損失(△)	△1,433,792	△1,273,181
法人税、住民税及び事業税	4,210	4,210
法人税等調整額	△52	△397
法人税等合計	4,158	3,813
当期純損失(△)	△1,437,950	△1,276,994

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	5,892,020	1,360,593	1,360,593	△2,093,633	△2,093,633	△2	5,158,978
当期変動額							
新株の発行	573,858	573,858	573,858				1,147,716
譲渡制限付株式報酬	3,950	3,950	3,950				7,900
当期純損失(△)				△1,437,950	△1,437,950		△1,437,950
欠損填補	△733,040	△1,360,593	△1,360,593	2,093,633	2,093,633		—
自己株式の取得						△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	△155,231	△782,784	△782,784	655,682	655,682	△2	△282,336
当期末残高	5,736,788	577,808	577,808	△1,437,950	△1,437,950	△4	4,876,641

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	352,946	352,946	—	5,511,924
当期変動額				
新株の発行				1,147,716
譲渡制限付株式報酬				7,900
当期純損失(△)				△1,437,950
欠損填補				—
自己株式の取得				△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△205,916	△205,916	20,270	△185,646
当期変動額合計	△205,916	△205,916	20,270	△467,983
当期末残高	147,029	147,029	20,270	5,043,941

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	5,736,788	577,808	577,808	△1,437,950	△1,437,950	△4	4,876,641	
当期変動額								
新株の発行	745,423	745,423	745,423				1,490,847	
譲渡制限付株式報酬	3,950	3,950	3,950				7,900	
当期純損失 (△)				△1,276,994	△1,276,994		△1,276,994	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	749,373	749,373	749,373	△1,276,994	△1,276,994	—	221,753	
当期末残高	6,486,162	1,327,182	1,327,182	△2,714,945	△2,714,945	△4	5,098,395	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	147,029	147,029	20,270	5,043,941
当期変動額				
新株の発行				1,490,847
譲渡制限付株式報酬				7,900
当期純損失 (△)				△1,276,994
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△54,658	△54,658	△20,270	△74,928
当期変動額合計	△54,658	△54,658	△20,270	146,824
当期末残高	92,370	92,370	—	5,190,766

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失 (△)	△1,433,792	△1,273,181
減価償却費	103,170	114,651
株式報酬費用	5,266	8,558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,707	5,881
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,444	△40,955
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	19,133	24,732
受取利息及び受取配当金	△6,883	△7,026
支払利息	57	27
為替差損益 (△は益)	△0	—
無形固定資産除却損	4,829	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	10,489
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,448	1,107
投資事業組合運用損益 (△は益)	10,006	△73,196
株式交付費	3,895	7,114
社債発行費等	5,696	—
保険解約損益 (△は益)	16,229	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,628	△10,177
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,962	17,324
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△1,726	4,126
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,075	2,285
未払金の増減額 (△は減少)	27,949	△26,049
未払又は未収消費税等の増減額	291	15,438
その他	40,363	△55,152
小計	△1,265,213	△1,274,001
利息及び配当金の受取額	6,893	7,037
利息の支払額	△57	△27
法人税等の支払額	△5,346	△4,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,263,723	△1,271,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,523	△53,586
無形固定資産の取得による支出	△64,254	△5,832
投資有価証券の取得による支出	△10,489	—
投資有価証券の売却による収入	6,448	10,692
短期貸付金の回収による収入	13,796	—
長期貸付金の回収による収入	5,000	36,000
投資事業組合からの分配による収入	5,429	77,858
敷金の回収による収入	15,269	12
保険積立金の解約による収入	52,590	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,267	65,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,132,309	1,462,426
新株予約権の発行による収入	27,378	—
自己株式の取得による支出	△2	—
リース債務の返済による支出	△1,992	△1,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,157,693	1,460,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△102,762	254,847
現金及び現金同等物の期首残高	4,499,095	4,396,333
現金及び現金同等物の期末残高	4,396,333	4,651,181

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(持分法損益等)
 当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、カテゴリーごとの区分管理をしており、「細胞加工業」及び「再生医療等製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「細胞加工業」は、医療機関向けの特定細胞加工物の製造をはじめ、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工の受託及び細胞培養加工施設の運営受託を含めたそれらの関連サービスを主に行っております。「再生医療等製品事業」は、再生医療等製品の製造・販売承認の取得のための研究開発を主に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	661,075	467	661,543	—	661,543
外部顧客への売上高	661,075	467	661,543	—	661,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	661,075	467	661,543	—	661,543
セグメント損失(△)	△346,124	△496,361	△842,485	△583,466	△1,425,952

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△583,466千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	768,255	245	768,501	—	768,501
外部顧客への売上高	768,255	245	768,501	—	768,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	768,255	245	768,501	—	768,501
セグメント損失 (△)	△373,567	△434,693	△808,261	△576,529	△1,384,790

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額△576,529千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、財務諸表の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
医療法人社団澁志会	398,845	細胞加工業
ヤンセンファーマ株式会社	69,642	細胞加工業

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
医療法人社団澁志会	459,697	細胞加工業
ヤンセンファーマ株式会社	100,328	細胞加工業
株式会社資生堂	84,909	細胞加工業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
1株当たり純資産額	21.64円	1株当たり純資産額	19.62円
1株当たり当期純損失(△)	△6.65円	1株当たり当期純損失(△)	△5.04円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純損失		
当期純損失(△) (千円)	△1,437,950	△1,276,994
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△) (千円)	△1,437,950	△1,276,994
普通株式の期中平均株式数(株)	216,084,438	253,282,224
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数321,750個、普通株式32,175,000株) 2022年12月15日開催取締役会決議に基づく譲渡制限付株式ユニット(RSU) RSUの数 235,040個 普通株式 235,040株	2022年12月15日開催取締役会決議に基づく譲渡制限付株式ユニット(RSU) RSUの数 554,018個 普通株式 554,018株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。